

地域が連携した新規就農支援組織の仕組み作りの横展開に向けて

長生地域の自治体とJAが連携して運営する新規就農支援機関での効果的な活動内容について、県内の市町村、JA等に発信し、連携の仕組み作りの横展開を図る。

○ 施策分類

新規就農、担い手、法人化

○ きっかけ・背景、課題の把握

千葉県長生農業事務所管内では、新規就農希望者の確保と担い手の育成を図るため、令和元年6月にJA長生、一宮町、白子町、長生村の4団体が「長生農業独立支援センター」を設立している。当拠点は、設立当初から支援センターと意見・情報交換を実施してきた。

○ 取組の内容

当拠点では、令和4年度に支援センターや研修生、新規就農者と就農までの課題等の意見交換を実施。また、支援センター主催の新規就農希望者向けバスツアーに参加。これらの取組状況を千葉県拠点HPに掲載。

今年度は、個別対応では取組の推進に限界があり新規就農対策に苦慮している県内各自治体等との意見交換時に、支援センターの地域連携の仕組みを紹介し、積極的に横展開を図った。

○ 効果・成果、今後の方向性

支援センターの堅実な就農実績（令和5年末迄に11名）や、当拠点を含む関係者の地道な周知活動により、予算や人材等の課題より参加を見送った市町の間でも加入に向けた気運が高まっており、県内自治体・JAの視察も増加している。

県も各地域で同様の仕組み作りの拡大を目指しており、当拠点も新規就農支援事業の活用につながる予算説明の実施や、引き続き支援センターの取組内容を共有・発信し、他地域への拡がりに向け貢献したい。

・支援センターからの要請によりバスツアーに参加し、就農希望者との意見交換会にて参加者の質問や意見に回答（支援年齢の引き上げ要望について）。



体制図

